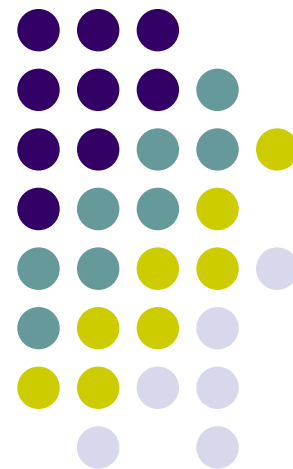


# 平成30年3月期決算説明資料

大村紙業株式会社

東京証券取引所

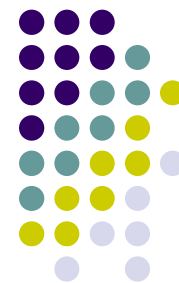
JASDAQ(スタンダード):3953





# 目次

- 会社概要 ……3
- 事業の状況 ……4
- 業績概要 ……5
- 品種別売上高及び生産実績 ……8
- 今後の見通し ……9
- 売上高および経常利益の見通し ……10
- 品種別売上高の見通し ……11
- 免責事項 ……12



# 会社概要

- 社 名 : 大村紙業株式会社
- 本 社 所 在 地 : 神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代 表 者 : 大村日出雄
- 設 立 : 1965年(昭和40年)3月17日
- 資 本 金 : 554,000千円
- 発行済株式総数 : 4,884千株
- 事 業 内 容 : 段ボール(シート・ケース・他)の製造販売  
ラベル製品の製造販売  
副資材商品の販売  
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事 業 部 : 湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・仙台・  
京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉
- 営 業 所 : 会津・レーベル湘南
- 研 究 所 : 包装設計デザイン研究所

# 事業の状況



- 当事業年度におけるわが国経済は、世界経済の回復を受けて輸出が増加した事や国内需要の持ち直しにより、穏やかな回復基調が続きました。しかしながら、東アジアや中東をめぐる地政学的リスクの懸念も一部では散見されております。
- 当業界におきましては、全国段ボール生産量は前期比101.5%となりました。
- 売上高は5,029百万円(前期比1.2%増)となり、また、利益面におきましては経常利益286百万円(前期比28.6%減)となり、当期純利益173百万円(前期比29.9%減)となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は東京証券取引所ホームページから検索しご覧いただくことができます。



# 業績概要①

売上高:前期比1.2%増 経常利益:前期比28.6%減 当期純利益:前期比29.9%減

(単位:百万円)

	当期 (平成30年3月期)	前期 (平成29年3月期)	前期比率
売上高	5,029	4,969	1.2%
営業利益	283	396	-28.4%
経常利益	286	400	-28.6%
当期純利益	173	247	-29.9%
1株当たり当期純利益金額(円)	36.07	51.45	

# 業績概要②



総資産の主な要因は、現金及び預金が増加したことによるものです。  
(自己資本比率68.9%)

(単位:千円)

資産の部	当期末 (平成30年3月末)	前期末 (平成29年3月末)
流動資産	4,967,494	4,623,531
現金及び預金	3,371,285	3,130,122
受取手形	493,631	501,180
売掛金	702,358	676,874
たな卸資産	355,535	266,399
その他流動資産	44,683	48,954
固定資産	2,535,040	2,588,453
有形固定資産	2,288,292	2,238,379
無形固定資産	12,577	15,409
投資その他の資産	234,170	334,664
資産合計	7,502,535	7,211,985

(単位:千円)

負債・純資産の部	当期末 (平成30年3月末)	前期末 (平成29年3月末)
流動負債	1,670,622	1,455,511
支払手形	1,027,982	877,066
買掛金	237,389	197,159
未払法人税等	40,468	103,080
その他の流動負債	364,782	278,205
固定負債	661,716	713,389
退職給付引当金	144,905	154,296
役員退職慰労引当金	411,560	401,405
その他	105,250	157,687
負債合計	2,332,338	2,168,901
純資産合計	5,170,196	5,043,083
負債・純資産合計	7,502,535	7,211,985



## 業績概要③

(単位:千円)

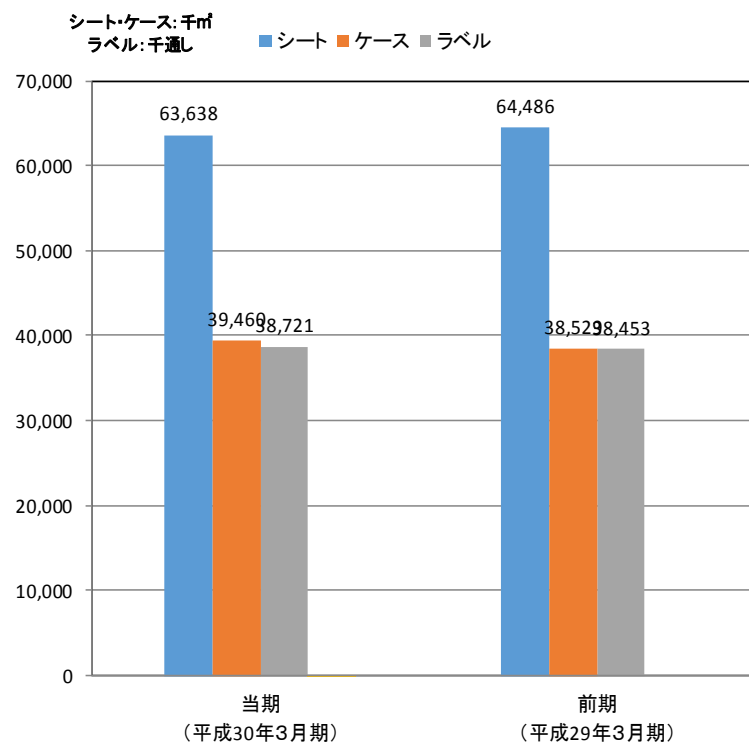
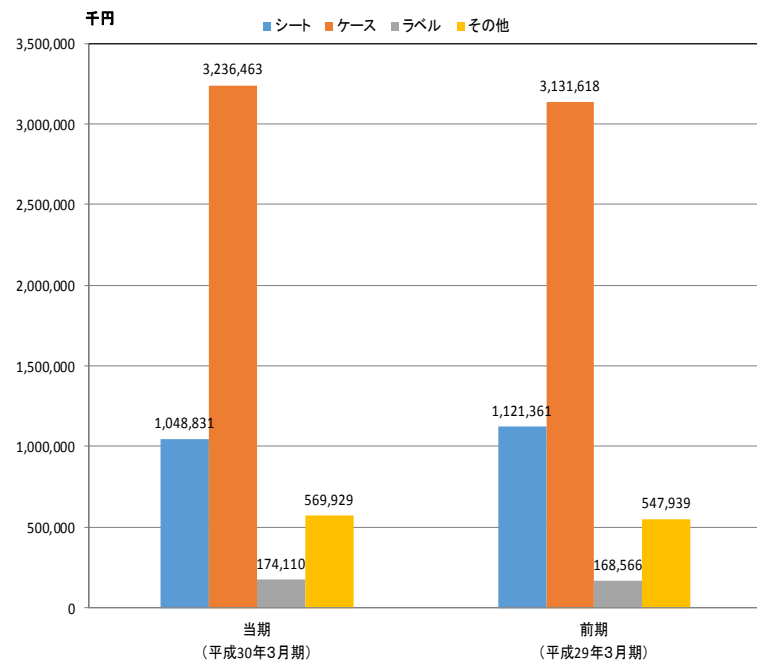
	当期 (平成30年3月期)	前期 (平成29年3月期)
営業活動による キャッシュ・フロー	349,123	370,758
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 208,302	▲ 39,529
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 99,885	▲ 99,206
増減額(減少:▲)	40,934	232,022
現金及び現金同等物の 期首残高	3,100,868	2,868,846
現金及び現金同等物の 期末残高	3,141,803	3,100,868



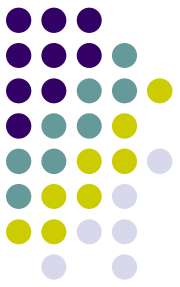
# 品種別売上高及び生産実績

前年と比べてケース・ラベル・その他は売上増加、シートは売上減少となりました。

前年と比べてケース・ラベルは生産増加、シートは生産減少となりました。







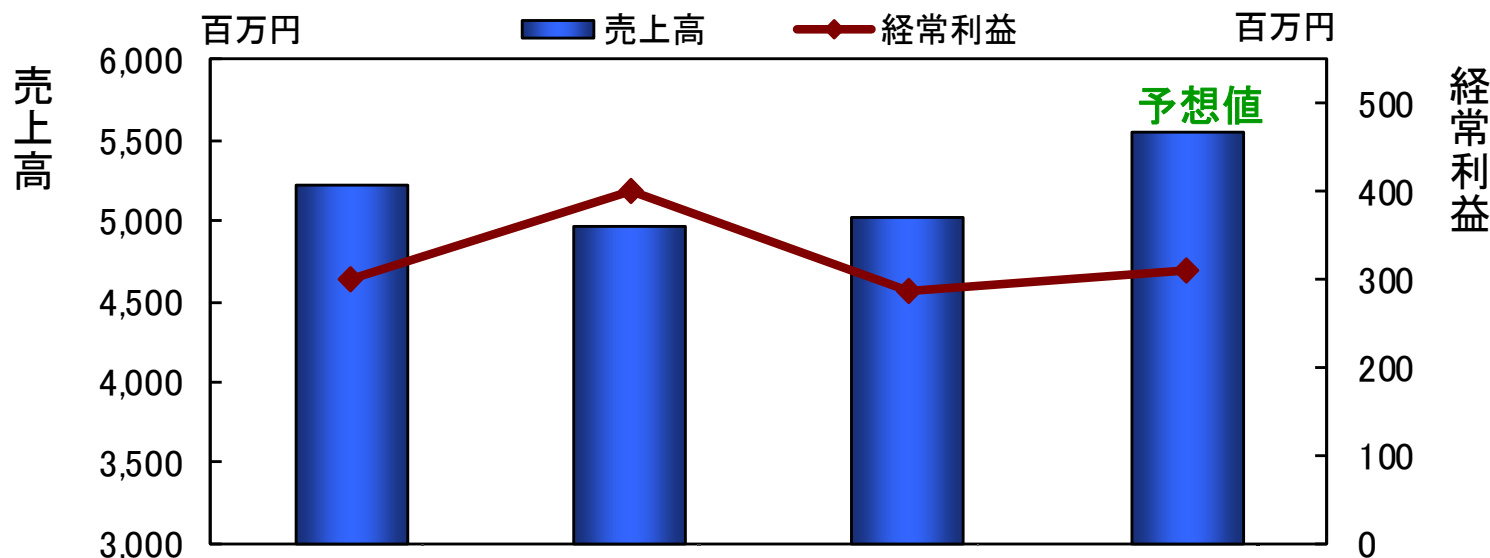
# 今後の見通し

- 次期の見通しにつきましては、政府による経済政策や日銀による金融緩和が引き続き行われると思われ、景気は穏やかな回復を続けるものと期待されています。しかし、先行きにつきましては米国の政策運営の影響やアジア地域における経済・政策の不確実性も懸念され不透明な状況で推移するものと思われまます。
- 当社の平成31年3月期の通期業績予想につきましては、売上高5,554百万円(前期比10.4%増)、営業利益309百万円(同9.0%増)、経常利益310百万円(同8.4%増)及び当期純利益192百万円(同10.9%増)を計画しております。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。これは将来の利益に貢献し、かつ株主各位への安定的な利益還元に寄与できるものと考えております。

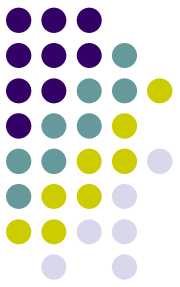


# 売上高および経常利益の見通し

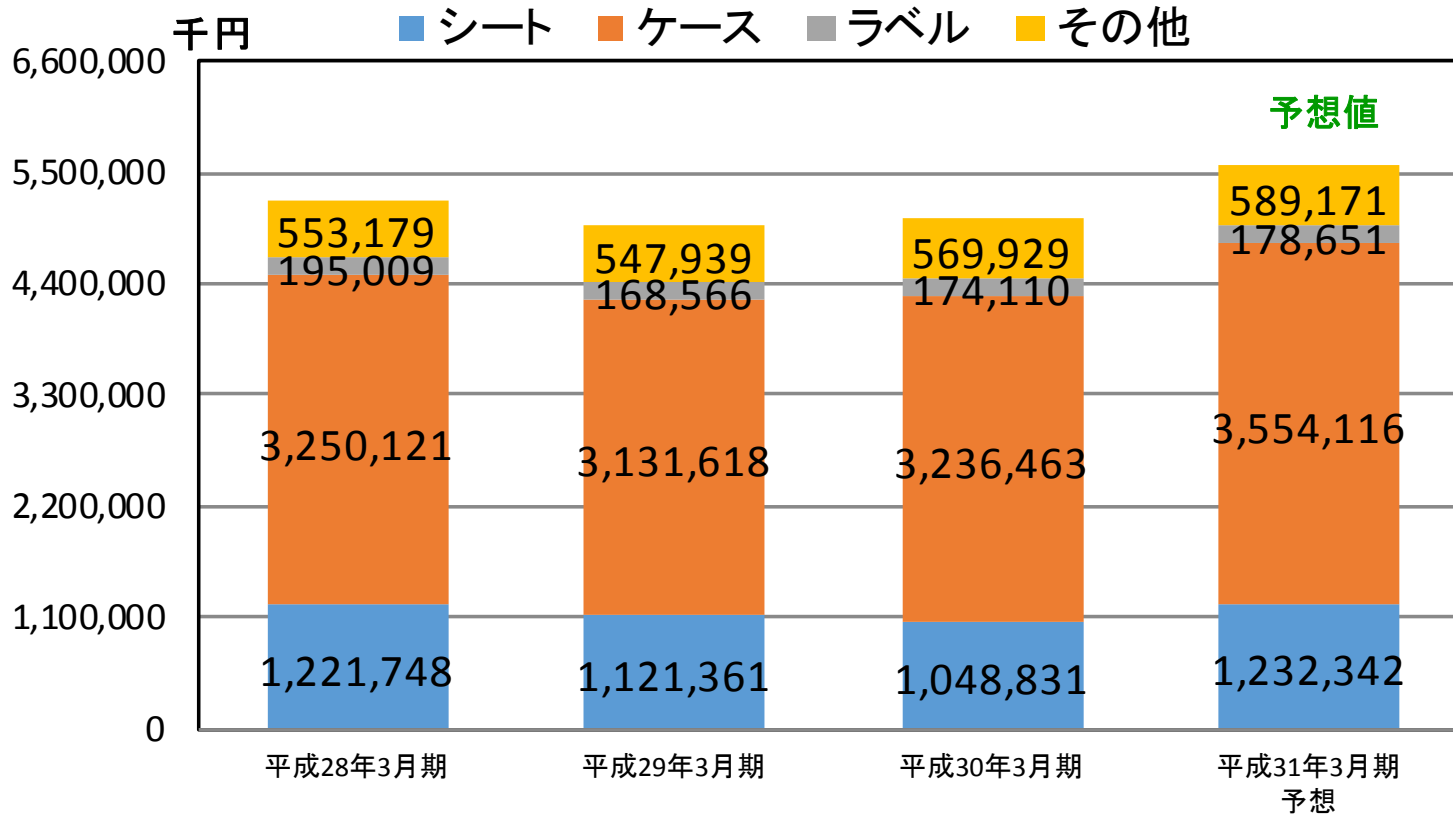
※売上高5,554百万円(前期比10.4%増)、営業利益309百万円(同9.0%増)、経常利益310百万円(同8.4%増)及び当期純利益192百万円(同10.9%増)を計画しております。



	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期	平成31年3月期 予想
売上高	5,220	4,969	5,029	5,554
経常利益	300	400	286	310



# 品種別売上高の見通し





## 免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいきます。それゆえ、実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。